

# 委員会の動き

三重県議会には、現在、六つの常任委員会と五つの特別委員会及び議会運営委員会が設置されています。

常任委員会は、本会議から付託された議案や請願の審査を行うとともに、担当する県の各部署に関する事項を調査しています。

特別委員会は特定事項の審査・調査を、議会運営委員会は議会運営に関する事項を協議しています。

今回は、平成十三年六月から平成十四年一月までの委員会活動状況の概要をお知らせします。

なお、今年度、各常任委員会とも、固有の審査、調査と合わせて、「三重のくにつくり宣言」の数値目標の見直し等について共通して調査を行っています。

## 常任委員会審査報告

### 総務企画常任委員会

行財政の運営や長期総合計画の推進などについて審査、調査をしています。(四回)  
平成十三年六月、平成十四年一月までの委員会開催回数

#### 【審査・調査の概要】

・三重県産業廃棄物税条例

この委員会では、県レベルで全国初の法定外目的税となった「三重県産業廃棄物税条例案」を審査しました。税の使途、効果、影響などについてさまざまな議論がなされた結果、社会情勢の変化に応じて適切に措置するよう、委員会審査として

は二十年ぶりの附帯決議を付しました。

また、所管事項の調査では、「三重のくにつくり宣言」を推進するための二大戦略である「政策推進システム」と「行政経営品質向上活動」の基本的な考え方について、継続して調査を行いました。そのほか、科学技術振興センターの研究成果やペイオフ解禁後の県の資金管理などについても調査しました。



【議案の審査】

公益法人等への職員の派遣等に関する条例案  
工事請負契約について(本庁舎耐震化工事)等

### 生活振興常任委員会

生活文化行政の総合的推進、雇用対策、地域振興の推進及び防災対策の推進などについて審査、調査をしています。(八回)

#### 【審査・調査の概要】

・市町村合併

この委員会では、市町村合併や雇用対策に関する取組について、特に集中して審査を行いました。

市町合併では、県内の状況を踏まえて県の支援策を中心に議論を行いました。また、雇用対策では、緊急的な施策などについて各委員から様々な意見、提言が出されました。

また、県も出資している(株)国際規格審査登録センターの(財)日本適合性認定協会からの認定一時停止処分について、二度にわたり参考人として責任者の出席を求め、厳しく問題点を指摘するとともに、今後の対応策

について強く要望しました。

さらに、こうした議論を踏まえた上で、特に先進的な事例を中心として県内外の現地調査を実施しました。



【議案の審査】

三重県緊急雇用創出基金条例案  
一般会計補正予算(紀南地域の新しい振興策の検討体制(案)等)等

### 健康福祉環境常任委員会

社会福祉対策の総合的推進、保健医療行政の推進及び環境行政の推進などについて審査、調査をしています。(四回)

#### 【審査・調査の概要】

・自動車NOx・PM法

この委員会では、自動車から排出される窒素酸化物等の総量を削減しようとする新しい「自動車NOx・PM法」について、北勢地域八市町がその規制対象地域の候補となった問題について、特に集中して審査を行いました。

また、健康福祉部関係では、三重県健康づく



り推進条例案の骨子について、環境部関係では桑名市における産業廃棄物の不法投棄に係る行政代執行について、病院事業庁関係では経営健全化計画についてなど広範な分野につい

て調査を行いました。

さらに、こうした議論を踏まえた上で、特に先進的な事例を中心として県内外の現地調査を実施しました。

#### 【採択した請願】

食品衛生法の改正と運用強化について

### 農林水産商工常任委員会

農山漁村の活性化の推進、農業・林業・水産業・商工業の振興、中小企業の育成や、不況対策について審査、調査をしています。(三回)

#### 【審査・調査の概要】

・狂牛病問題

この委員会では、昨年、狂牛病(牛海綿状脳症)の牛が国内でも発見されたことを受け、牛肉の安全確保、検査体制の確立、風評被害や生産者等への対応などについて特に集中して調査を行い、委員から様々な意見や提言が出されました。

また、(株)マイカルの経営破綻の影響や県下の厳しい経済環境を踏まえ、中小企業を中心とした産業施策について、総合的な議論を行いました。

さらに、農業、漁業の振興策について、特に先進的な事例を中心として県内外の現地調査を実施しました。

【可決された意見書】

農業の持続的発展を求める意見書  
地域経済の再生並びに雇用の創出・拡大を求める意見書



## 県土整備企業常任委員会

公共土木施設の整備促進、都市計画・住宅・下水道・その他土木行政の推進や公営企業の推進などについて審査、調査をしています。(五回)

### 【審査・調査の概要】

#### ・公共事業

この委員会の県土整備部関係では、建設工事の契約案件に係る審査のほか、公共事業評価システム、海岸整備アクションプログラム、道路整備十箇年戦略の見直しなど、広範な観点から公共事業のあり方について調査を行いました。

また、企業庁関係では、北伊勢工業用水道事業の給水区域の拡大についての審査のほか、企業庁経営計画やRDF焼却・発電施設整備等について調査を行いました。

さらに、台風や豪雨による東紀州地域の被害状況を受けて、急きよ現地調査を実施し、県当局へも適切な復旧策を要望しました。

### 【議案の審査】

三重県建築基準条例の一部を改正する

#### 条例案

三重県宅地開発事業の基準に関する条例の一部を改正する条例案等



## 教育警察常任委員会

学校教育の充実、体育・スポーツの振興、生涯教育及び文化財保護行政の推進や警察の組織及び運営などについて審査、調査をしています。(五回)

### 【審査・調査の概要】

#### ・教職員等への給与の過渡し

この委員会では、昨年度から引き続き、公立学校職員等が勤務時間中に行った職員団体のための活動により生じた過渡し給与の返還問題について、特に集中して審査を行いました。

また、県立高校の再編問題、少人数教育の推進、県立高校への芸術科の設置や熊野古道の世界遺産登録など広範な分野について議論や提言を行いました。警察関係でも、特に地域の治安を向上させるための施策について、委員から様々な意見が出されました。

さらに、こうした議論を踏まえた上で、先進的な事例を中心として県内外の現地調査を実施しました。

### 【採択した請願】

30人以下学級の実現と教育予算の増額

#### について

義務教育費国庫負担制度の存続について



## 特別委員会調査報告

### 首都機能移転・地方分権推進(市町村合併)調査特別委員会

首都機能移転、地方分権及び生活創造圏の推進や市町村合併に関する事項を調査しています。

### 【調査の概要】

#### ・首都機能移転

今年度は、三重・畿央地域への首都機能移転や市町村合併の推進に関する県の取組を中心に調査を行いました。

具体的には、三重・畿央地域への首都機能移転をめざし、他の候補地の動向や国会での審議状況等を調査した上で、県の取組に対して様々な意見が出されました。また、市町村合併についても県内の現状を踏まえて、特に県の支援策について集中的に調査を行いました。

さらに、今年度は、衆議院の国会等の移転に関する特別委員長等への要望活動を委員会として実施するとともに、市町村合併の先進的な取組例について現地調査を行いました。



## 行政改革調査特別委員会

行政改革問題に関する総合的な調査をしています。

### 【調査の概要】

#### ・県の外郭団体

今年度は、県の外郭団体のあり方を重点的に調査しました。

具体的には、五十二の団体を対象として当局から示された改革案をもとに、業務内容や運営方法等について見直ししました。

中でも特に議論のあった団体については、その責任者を参考人として委員会に招き、直接聴き取り調査を行いました。

その結果、団体によっては組織の統廃合や民営化を視野に入れて検討すべきとするなど、当局案よりも踏み込んだ改革方針を取りまとめ、第四回定例会で委員長報告を行いました。

外郭団体の改革については、今後も引き続き、当局の取組状況を調査していくこととしています。



## 予算決算特別委員会

予算、決算等財政について総合的に審査、調査をしています。

### 【審査・調査の概要】

・新年度予算の編成  
 予算調査では、平成十四年度当初予算の編成状況について、知事など三役が出席した総括質疑や各部署に対する調査のための委員会を七回開催し、予算編成に反映するよう委員から様々な意見が出され、活発な議論を行いました。また、本年度は予算に大きく影響を与える「三重のくにづくり宣言」の数値目標の見直しについて、総括的な調査も実施しました。

なお、決算審議では、平成十二年度一般・特別・企業の各会計の決算認定議案について、八回の委員会を開催し、集中して審議を行い、第四回定例会で合わせて十六の決算を全て認定しました。

さらに、政策評価システムや財政健全化計画に関する先進的な取組例について現地調査を実施しました。



## 少子・高齢化・男女共同参画特別委員会

少子、高齢化及び男女共同参画に関する事項を調査しています。

### 【調査の概要】

・男女共同参画  
 今年度は、昨年度に施行された「三重県男女共同参画基本条例を、より具体化するための施策を中

心に調査を行いました。

具体的には、県が策定している「三重県男女共同参画基本計画」に議会の意見を反映させるため、素案の段階から調査を実施し、様々な提言を行いました。調査は2回にわたり、うち1回は、生活振興常任委員会との連合審査会として開催しました。



さらに、従来の少子・高齢化・男女共同参画の分野に加え、児童虐待やドメスティックバイオレンスの現状を憂慮し、集中的に現地調査を実施しました。

## 新産業（IT・環境産業等）創造調査特別委員会

新産業、IT及び環境産業等の創造推進に関する事項を調査しています。

### 【調査の概要】

・新産業の創造、育成  
 今年度は、特に「環境」と「健康」をキーワードにして、新規成長産業の創造に向けた県の取組等を集中的に調査しました。また県当局に対して提言を行うべく、全国の特徴的な新産業育成構想を独自に調査しました。



具体的には、県が策定している医療・健康・福祉産業の振興計画について集中的に議論を行い、県当局に対して、構想の具体化に最大限努

力するよう強く要望しました。また、環境産業に関する現状や今後の県の施策方向について議論を行いました。

さらに、こうした内容を踏まえ、リサイクルなどの分野で成功をおさめている環境産業について、現地調査を実施しました。

## 議会運営委員会の活動状況

### 議会運営委員会

議会の運営に関することを中心に、議会の関係の条例及び規則等に関する事項、議長が諮問した事項等について協議しています。

【委員会開催状況及び協議事項】  
 通常、定例会開会前と開会中に開催されます。

真の議決機関としての機能を発揮するため、円滑な議会運営をめざし、様々な事項について協議を行いました。

### 【主な協議事項】

- ・提出予定議案 定例会の日程 質問者調整、質問方法等（開会前）
- ・請願の受理結果、質疑・討論の取扱、採決の方法 次回定例会の会期等（開会中）

## 議員の辞職

名張市選出の亀井利克議員から議員辞職願が提出され、二月十九日に開催された本会議で許可されました。

なお、会派別議員数は次のとおりとなりました。

会派	人数
新政みえ	26
自由民主党議員団	20
無所属・MIE	5
日本共産党議員団	2
無所属	1

## 議会運営委員会委員の補充選任

亀井利克議員の議員辞職に伴い、二月十九日の本会議で、新しい議会運営委員に田中 博議員（新政みえ）が補充選任されました。

## 議会の窓

### 県議会傍聴のご案内

県議会の審議の様子を間近でご覧になりませんか。

本会議、委員会の傍聴ができます。

みえ県議会だよりでは次回定例会の予定を、ポスター（県の施設や市町村に掲示）や議会ホームページでは委員会も含めた毎月予定をお知らせしています。開催日程を確認のうえ、県議会までお越しください。

三重県議会ホームページのアドレス  
<http://www.pref.mie.jp/GIKAIS/kengij/gikai.htm>

### 問い合わせ窓口

〒514-8570 津市広明町13  
 県議会事務局議事課  
 電話 059-224-2874  
 FAX 059-229-1931  
 E-mail gikais@pref.mie.jp

### 表紙写真の解説

去る二月十二日津市内で、三重県議会議員市町村議会議員や有識者などが一堂に会して、基調講演やパネルディスカッションを通して分権時代の地方議会のあり方を探ろうとする行事が行われました。この「集い」は、三重県市議会議長会、三重県町村議会議長会と三重県議会の主催で開催したもので、多くの参加者のもと、熱心な議論が繰り広げられました。